

びふか 議会 です

こんにちは。

2015年5月号
北海道／美深町議会



町民の負託に応える議会へ 課題解決へ全力投球

議会構成が決まりました …………… 2

正副議長あいさつ …………… 3

新体制の各委員会 …………… 4

第93号



議会広報データ <http://www.town.bifuka.hokkaido.jp/cms/section/gikai/index.html>

この議会広報は、地球にやさしい再生紙を使用しています。

議長に倉兼政彦議員 副議長に南和博議員を選出

町民の負託にこたえる 新しい議会構成が決まる

5月7日、改選後の初議会となる平成27年第2回臨時会が開催された。今議会は、議長、副議長選挙をはじめとする議会構成を決定することが主な議題である。選挙の結果、議長に倉兼政彦議員、副議長に南和博議員が選出されたほか、総務住民、産業教育の各常任委員会と議会運営委員会の構成を決めた。引き続き監査委員並びに副議長選任の同意案件が町側から上程され、監査委員に諸岡勇議員、副議長に今泉和司氏が全員起立により同意された。また、一部事務組合である上川北部消防事務組合、名寄地区衛生施設事務組合の議会議員選出も行われた。

7日午前10時に開会された臨時会では、改選議員11名が初めて議場に揃った。事前に仮議席の決定が行われ、各議員が着席するなか会議が進められた。議長選出までの臨時議長は年長議員が

就くことになっており、中野勇治臨時議長が開会宣言を行ったのち議長選挙が行われ、倉兼政彦議員が当選した。副議長選挙は倉兼議長のもと行われ、南和博議員が当選した。正副議長選挙に向

けては、5月1日に開催された議員懇談会において、それぞれの意思表示が行われた。

議長選挙では倉兼議員、副議長選挙では齊藤議員と南議員がそれぞれ抱負と決意を表明し臨時会に臨んだ。

選挙においては意志表示者以外の記名投票があっても差し支えない。

正副議長の当選告知並びに監査委員の同意がされた後、それぞれ就任あいさつが行われた。

改選後の初議会において、4年間の町民の負託にこたえる議会構成が整った。

議長選挙

倉兼 政彦
(6期 69才) 10票
齊藤 和信
(4期 58才) 1票

この結果、倉兼政彦議員が議長に当選。

副議長選挙

南 和博
(3期 55才) 7票
齊藤 和信
(4期 58才) 4票

この結果、南和博議員が副議長に当選。

監査委員は 諸岡 勇議員に

監査委員は、2名で構成されており、1名は、議員から町

長が選任し議会に提案をする。

今回の任期満了により、諸岡勇議員が選任され、議員全員が同意し決定した。



第2回臨時会において議長の命を受け、その重責に身の引き締まる思いを感じながら、議論の府の長として町民皆様の負託に応えるべく、微力ではありますが公平・公正な議会運営に専心努力する決意であります。

少子高齢化という大きなうねりの中で本町の人口も僅かながら減少の道を辿っており、行財政の厳しさと住民の多様性が増す中で地域主権型社会の構築が求められております。

本町第5次総合計画の見直しをかけながら着実に前へ進める事に加え、地方創生という大きな課題がのしかかってきており、「自立する美深町をどうするのか」将来を見据えた真剣な議論が必要であります。

まちづくりは、住民参加と対話の中で成り立つもの。住民、議会、町理事者が役割分担のなかで、しっかりとした議論を進めたいと思います。

五月の空にたくさんの鯉のぼりが舞う、それが私の夢です。

私の抱負

議長 倉兼政彦
副議長 南和博

このたび美深町議会議員選挙において4期目の議席を賜り、さらには改選後の第2回臨時会において副議長を拝命し、身の引き締まる思いであります。

今後の4年間においては、平成23年度にスタートした美深町第5次総合計画の前半の検証と、後半の計画推進の議論が重要であります。その背景にある少子高齢化、人口減少、地方創生等の対策が喫緊の課題であります。

また、本年は国勢調査の年であり、人口減により今後、地方交付税の減少が想定されます。それらを踏まえた財源確保をいかに図るか、行政改革をどのように進めるかが大事だと考えております。

今回の町議会選挙は無投票ではありませんでしたが新人議員が3名加わり、一定の議会活性化が図られたと思います。

改選後の新しい議会を今後、議会改革の一環として開かれた議会となるよう、経験豊富な倉兼議長のサポート役として重責を全うしたいと考えております。



副町長の選任に同意

任期満了に伴う副町長に、今泉和司さんの再任に全会一致で同意した。(3期58才)



一部事務組合の議員決定

名寄地区衛生
施設事務組合

上川北部
消防事務組合

齊藤 和信議員
和田 健議員

小口 英治議員
岩崎 泰好議員

衛生施設事務組合は、昭和39年設置、名寄市7名、下川町・美深町・音威子府村各2名の13名で構成。し尿処理及び浄化槽汚泥並びにごみの処理・炭化処理に関する建設、運営を協賛する組合議会。

上川北部消防事務組合は、昭和46年に設置、名寄市3名、下川町・美深町・中川町・音威子府村各2名の11名の構成。消防行政一般について、組合議会の議決を経て決定する。

議会傍聴しませんか

第2回定例会 6月中旬予定

このメンバーで活動します！ 新体制の各委員会



産業教育

常任委員会

主に、産業施設課・農業委員会・教育委員会に関する行政事務の管理などの調査と、議案・請願・陳情などの審査などを行う委員会。5名の委員で構成され、任期は4年。



副委員長
藤原 芳幸



委員長
小口 英治



委員
荒川 賢一



委員
長岐 和彦



委員
岩崎 泰好

総務住民

常任委員会

主に、総務課・住民生活課に関する行政事務の管理などの調査と、議案・請願・陳情などの審査などを行う委員会。5名の委員で構成され、任期は4年。



副委員長
中野 勇治



委員長
齊藤 和信



委員
和田 健



委員
南 和博



委員
諸岡 勇

議会運営委員会

委員長 中野 勇治
副委員長 岩崎 泰好
委員 齊藤 和信
委員 小口 英治
委員 藤原 芳幸

議会運営委員会とは

略称「議運」と言われ、年4回開催される定例会及び、随時開催される臨時会の日程調整、本会議の進行の確認などが行われる。

委員は総務住民、産業教育の各常任委員会からそれぞれ2人と全議員から選考された委員1人の合計5人で構成される。

議会広報

特別委員会

委員長 岩崎 泰好
副委員長 齊藤 和信
委員 南 和博
委員 長岐 和彦
委員 荒川 賢一
委員 和田 健

議会広報の役目は、

- ①議会活動の様子をわかりやすく的確に住民の皆様に伝えること
 - ②町民の声を議会に反映する窓口としての「広聴活動」を進めること
- 『住民とともに歩む議会広報でありたい』と、活動中です。

議員会

議員会は、全議員で構成し、議員同士の研修や交流・親睦などを行っている。

会長 小口 英治
幹事長 藤原 芳幸
幹事 齊藤 和信
幹事 荒川 賢一
監事 南 和博